

テーマ1：人手不足解消のための規制緩和等（5件）

1-1 【能代市、40代】

人手だけで考えると、海外人材、副業、兼業、テレワーク、主婦、高齢者、障がい者のように多様な人材を受け入れられる環境づくりは重要だと思います。

その上で特に、海外人材(特定技能、技能実習、インターン、技人国等)の受け入れは持続可能な事業を創っていく上で重要です。まずは海外人材を受け入れる必要性、そして、制度、海外人材に対しての価値観のアップデートできるように、正しく知るための研修や、受け入れ企業への見学、そして、東南アジアの教育、生活環境を視察する取り組みを行政が支援して頂きたいと思っています。宮城県、千葉県、兵庫県では、東南アジアの国々との人材協定や受け入れのための様々な取り組みを行政、民間、大学と行っておりますので、参考にぜひ、これからの秋田県の未来のために前向きに迅速にために迅速に動いて頂きますようお願い致します。動かれるようであれば、私たちも精一杯ご協力致します。何卒宜しくお願い致します。

1-2 【神奈川県、50代】

働き方改革をやめればよい

1-3 【秋田市、30代】

規制の緩和や見直しをする前に、どれだけの規制があるのかを体系化して、公開することが必要だと考えます。現在どのような規制があるか分からないと、どのように改革していけばいいかも分からなく、どのような経緯で規制が制定され改定されていったかが分からないと適切な議論にならないと考えられます。裁判による判例がある場合はその補足も追記したものが望ましいです。たとえば、各規制に属性のタグをつけて、タグによる絞り込み検索ができるようにする。#医療規制#交通規制など複数の業種にまたがる場合は関連業種すべてをタグ付けし、その規制が法律なのか条例なのか省令なのかなどの分類もあるとより良いと思います。

実際に規制緩和をするとすると、現在その規制で生活している人からの反発が予想されるため、以下2点の方法で進めるのが良いと考えます。

1つ目は、アメリカのトランプ前大統領が行ったのが一番知られている、規制を1つ作る場合に規制を2つ廃止するという2対1ルールを導入。

2つ目は、既に俎上に上がっている、新しい規制やすでにある規制の強化、増税案を先行して導入する逆経済特区構想。これを推進している議員の選挙区内のみに導入して経済動向を見ていく。新たな増税や規制が必要で、そうすることで生活がより豊かになると議会で議題に出すのであれば、率先して自身の選挙区内で導入することで証明するのが理に

かなっていると考えます。

1-4 【大仙市、30代】

突然メールを拝送することをお許してください。

いつもお世話になっております。

早速ですが、的外れでしたらすみませんが、人手不足解消のために、

例えばの話で、可能なら試験を一年に一回ではなく試験管増やしたり毎日か毎月開催して試験にはこの3つの問題集のうち1つが試験問題です。と前もって本屋とかネットで販売して秋田県民全員に知ることができるようにして、

小さい時から学校に入っている時から職業体験や1年間や週3日働いてもらって、連続10年勤めて今までの資格所有者と同じくらいの業績なら秋田県独自で看護師や医師、専門職や他の職業の資格と同じような待遇を手に入れられるようにすると人手不足解消ができると思います。

以上、秋田県の皆さんの増々のご活躍ご健勝お祈り申し上げます。

1-5 【神奈川県、40代】

秋田に限らず日本全国的にですが、単純作業を人手に頼っている業務が多すぎます。

例えば、商品へのシール貼り、お惣菜やお弁当のパック詰め、小物の目視検査、ボールペンを組み立てる、データ入力などなど。

物流もタクシーも、技術的には今すぐ自動運転化で対応できます。

今すぐロボット化できるところを、県を挙げて徹底してロボット化する。

AI化できるところも、徹底してAI化していく。

また、人にしかできない作業も誰にでもできるように単純化する流れがありますが、その結果、末端の現場では労働者の質がどんどん低下しています。

労働現場での教育および、学校教育で未来の労働者の育成に注力する必要があります。

目先の問題でいけば、最低賃金が安すぎます。

物価は東京都と同じ、自動車必須の地域なのに、最低賃金800円台でどうやって質のいい労働者集まりますでしょうか。

実質賃金の下限が、東京の最低賃金になるような政策が必須です。